

第9章 体育

第1 教科目標, 評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

心と体を一体としてとらえ, 適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して, 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り, 楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	運動や健康・安全 についての思考・判断	運動の技能	健康・安全についての 知識・理解
運動に進んで取り組むとともに, 友達と協力し, 安全に気を付けようとする。また, 身近な生活における健康・安全について関心をもち, 意欲的に学習に取り組もうとする。	自己の能力に適した課題の解決を目指して, 運動の仕方を工夫している。また, 身近な生活における健康・安全について, 課題の解決を目指して考え, 判断し, これらを表している。	運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付けている。	身近な生活における健康・安全について, 課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

3 内容のまとめり

体育科においては, 学習指導要領の内容を以下のように内容のまとめりとした。

<運動領域>

- 第1学年及び第2学年: 「A 体づくり運動」, 「B 器械・器具を使つての運動遊び」, 「C 走・跳の運動遊び」, 「D 水遊び」, 「E ゲーム」, 「F 表現リズム遊び」
- 第3学年及び第4学年: 「A 体づくり運動」, 「B 器械運動」, 「C 走・跳の運動」, 「D 浮く・泳ぐ運動」, 「E ゲーム」, 「F 表現運動」
- 第5学年及び第6学年: 「A 体づくり運動」, 「B 器械運動」, 「C 陸上運動」, 「D 水泳」, 「E ボール運動」, 「F 表現運動」

<保健領域>

- 第3学年: 「G 保健 (1) 毎日の生活と健康」
- 第4学年: 「G 保健 (2) 育ちゆく体とわたし」
- 第5学年: 「G 保健 (1) 心の健康」 「G 保健 (2) けがの防止」
- 第6学年: 「G 保健 (3) 病気の予防」

第2 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

<運動領域>

I 第1学年及び第2学年

1 学年目標

- (1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに, その基本的な動きを身に付け, 体力を養う。
- (2) だれとでも仲よくし, 健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。

2 第1学年及び第2学年の評価の観点の趣旨

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
運動に進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく、健康・安全に留意しようとする。	運動の仕方を工夫している。	運動を楽しく行うための基本的な動きを身に付けている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりとごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 体づくりの運動」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。
- ア 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすること。
- イ 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり移動をしたりするとともに、用具の操作などを行うこと。
- (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。

【「A 体づくりの運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
体づくり運動に進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	体づくりのための運動の行い方を工夫している。	多様な動きをつくる運動遊びを楽しく行うための体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。

【「A 体づくりの運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に進んで取り組もうとしている。 運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動をしようとしている。 友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 運動をする場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、友達と一緒に運動をしたり用具を使って運動をしたりするなど、運動の行い方を選んでいる。 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知るとともに、運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。 多様な動きをつくる運動遊びの動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり移動をしたりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きができる。

※なお、「体ほぐしの運動」は、技能の習得・向上を直接のねらいとするものではないことから、運動の技能の観点から削除している。

(2) 「B 器械・器具を使つての運動遊び」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
 - ア 固定施設を使つた運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをする。
 - イ マットを使つた運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。
 - ウ 鉄棒を使つた運動遊びでは、支持しての上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をすること。
 - エ 跳び箱を使つた運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをすること。
- (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

【「B 器械・器具を使つての運動遊び」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
器械・器具を使つての運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	器械・器具を用いた運動遊びの行い方を工夫している。	器械・器具を使つての運動遊びを楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。

【「B 器械・器具を使つての運動遊び」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・器械・器具を使つての運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動をしようとしている。 ・友達と協力して、器械・器具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動をする場や器械・器具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設や器械・器具を使つた運動遊びの行い方を知るとともに、運動をする場や使用する器械・器具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。 ・器械・器具を使つての運動遊びの動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設を使つた運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りなどができる。 ・マットを使つた運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転などができる。 ・鉄棒を使つた運動遊びでは、支持しての上がり下り、ぶら下がりや易しい回転などができる。 ・跳び箱を使つた運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りなどができる。

(3) 「C 走・跳の運動遊び」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
 - ア 走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。
 - イ 跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること。
- (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫できるようにする。

【「C 走・跳の運動遊び」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
走・跳の運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り勝敗を受け入れて仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	走ったり、跳んだりする運動遊びの行い方を工夫している。	走・跳の運動遊びを楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。

【「C 走・跳の運動遊び」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・走・跳の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・運動の順番やきまりを守り、勝敗の結果を受け入れて、友達と仲よく運動をしようとしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動をする場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走の運動遊びや跳の運動遊びの行い方を知るとともに、運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けたり、競走（争）の仕方を選んだりしている。 ・走ったり跳んだりする動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることなどができる。 ・跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることなどができる。

(4) 「D 水遊び」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
 - ア 水に慣れる遊びでは、水につかったり移動したりすること。
 - イ 浮く・もぐる遊びでは、水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりすること。
- (2) 運動に進んで取り組み、仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 水中での簡単な遊び方を工夫できるようにする。

【「D 水遊び」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
水遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り仲よく運動をしようとしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けようとしたりしている。	水中での運動遊びの行い方を工夫している。	水遊びを楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。

【「D 水遊び」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
・水遊びに進んで取り組もうと	・水に慣れる遊びや浮く・もぐ	・水に慣れる遊びでは、水につ

<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の順番を守り、友達と仲よく運動をしようとしている。 ・友達と協力して、補助具の準備や片付けをしようとしている。 ・水遊びの心得を守り、安全に気を付けようとしている。 	<p>る遊びの行い方を知るとともに、運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水につかったときの動き方や水に浮いたりもぐったりする動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。 	<p>かったり移動したりすることなどができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮く・もぐる遊びでは、水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりすることなどができる。
--	--	--

(5) 「E ゲーム」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。

ア ボールゲームでは、簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームをすること。

イ 鬼遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをすること。

(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(3) 簡単な規則を工夫したり、攻め方を決めたりすることができるようにする。

【「E ゲーム」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<p>ゲームに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り、勝敗を受け入れて仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。</p>	<p>簡単なゲームの規則を工夫したり、攻め方を決めたりしている。</p>	<p>ゲームを楽しく行うための簡単なボール操作や動きを身に付けている。</p>

【「E ゲーム」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに進んで取り組もうとしている。 ・運動の順番やきまりを守り、勝敗の結果を受け入れて、友達と仲よく運動をしようとしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・ゲームを行う場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールゲームや鬼遊びの行い方を知るとともに、得点の方法などの規則を選んでいる。 ・ボールゲームや鬼遊びの動き方を知るとともに、攻め方を選んだり見付けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールゲームでは、的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームにおいて、簡単なボール操作やボールを持たないときの動きができる。 ・鬼遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどの動きができる。

(6) 「F 表現リズム遊び」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動を楽しく行い、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。

ア 表現遊びでは、身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ること。

イ リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ること。

- (2) 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 簡単な踊り方を工夫できるようにする。

【「F 表現リズム遊び」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
表現リズム遊びに進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく踊ろうとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしていたりしている。	簡単な踊り方を工夫している。	題材になりきったりリズムに乗ったりして楽しく踊るための動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。

【「F 表現リズム遊び」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・表現リズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ・きまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。 ・運動をする場の安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びやリズム遊びの行い方を知るとともに、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けている。 ・題材やリズムの特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びでは、身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ることができる。 ・リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ることができる。

II 第3学年及び第4学年

1 学年目標

- (1) 活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け、体力を養う。
- (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を育てる。

2 第3学年及び第4学年の評価の観点の趣旨

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
運動に進んで取り組むとともに、きまりを守り互いに協力し、健康・安全に留意しようとする。	自己の能力に適した課題をもち、運動の仕方を工夫している。	運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付けている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりとごとの評価規準に盛り込むべき事項及びその設定例

(1) 「A 体づくり運動」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。
- ア 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合

ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすること。

イ 多様な動きをつくる運動では、体のバランスや移動、用具の操作などとともに、それらを組み合わせること。

(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(3) 体つくりのための運動の行い方を工夫できるようにする。

【「A 体つくり運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
体つくり運動に進んで取り組みとともに、きまりを守り、仲よく運動をしようしたり、運動をする場や用具の安全を確かめようとしていたりしている。	運動のねらいに合った課題をもち、体つくりのための運動の行い方を工夫している。	多様な動きをつくる運動を楽しむ行うための体の基本的な動きやそれらを組み合わせた動き、各種の運動の基礎となるよい動きを身に付けている。

【「A 体つくり運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・体つくり運動に進んで取り組みようとしている。 ・用具の使い方や運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って運動をしようとしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動する場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、友達と一緒に運動をしたり用具を使って運動をしたりするなど、運動の行い方を選んでいる。 ・多様な動きをつくる運動の行い方を知るとともに、友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れたり、動きの組み合わせ方を選んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な動きをつくる運動では、体のバランスや移動、用具の操作、力試しの動きとともに、それらを組み合わせた動きができる。

※なお、「体ほぐしの運動」は、技能の習得・向上を直接のねらいとするものではないことから、運動の技能の観点から削除している。

(2) 「B 器械運動」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技ができるようにする。

ア マット運動では、基本的な回転技や倒立技をすること。

イ 鉄棒運動では、基本的な上がり技や支持回転技、下り技をすること。

ウ 跳び箱運動では、基本的な支持跳び越し技をすること。

(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(3) 自己の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫できるようにする。

【「B 器械運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
器械運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組みとともに、きまりを守り、仲よく運動をしようしたり、	自分の力に合った課題をもち、技ができるようにするための運動の行い方を工夫している。	器械運動の基本的な技を身に付けている。

運動する場や器械・器具の安全を確かめようとしていたりしている。		
---------------------------------	--	--

【「B 器械運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びに触れることができるよう、器械運動に進んで取り組もうとしている。 ・器械・器具の使い方や運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って運動をしようとしている。 ・友達と協力して、器械・器具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動する場や器械・器具の使い方などの安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技の動き方や技のポイントを知るとともに、自分の力に合った課題を選んでいく。 ・基本的な技の練習の仕方を知るとともに、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動では、自分の力に合った基本的な回転技や倒立技ができる。 ・鉄棒運動では、自分の力に合った基本的な上がり技や支持回転技、下り技ができる。 ・跳び箱運動では、自分の力に合った基本的な支持跳び越し技ができる。

(3) 「C 走・跳の運動」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。

ア かけっこ・リレーでは、調子よく走ること。

イ 小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り越えること。

ウ 幅跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶこと。

エ 高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶこと。

(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(3) 自己の能力に適した課題をもち、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫できるようにする。

【「C 走・跳の運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
走・跳の運動に進んで取り組むとともに、きまりを守り勝敗を受け入れて仲よく運動をしようとしていたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしていたりしている。	自分の力に合った課題をもち、動きを身に付けるための運動の行い方や競走（争）の仕方を工夫している。	走・跳の運動を楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となるよい動きを身に付けている。

【「C 走・跳の運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
・走・跳の運動に進んで取り組	・走の運動や跳の運動の動き方	・かけっこ・リレーでは、調子

<p>もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って練習や競走（争）をしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動する場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。 	<p>や動きのポイントを知るとともに、自分の力に合った課題を選んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走の運動や跳の運動の動きを身に付けるための練習の仕方を知るとともに、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・仲間との競走（争）の仕方を知るとともに、競走（争）の規則を選んでいる。 	<p>よく走ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り越えることができる。 ・幅跳びでは、短い助走から調子よく踏み切って遠くへ跳ぶことができる。 ・高跳びでは、短い助走から調子よく踏み切って高く跳ぶことができる。
--	--	--

(4) 「D 浮く・泳ぐ運動」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
 - ア 浮く運動では、いろいろな浮き方やけ伸びをすること。
 - イ 泳ぐ運動では、補助具を使つてのキックやストローク、呼吸をしながらの初歩的な泳ぎをすること。
- (2) 運動に進んで取り組み、仲よく運動をしたり、浮く・泳ぐ運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 自己の能力に適した課題をもち、動きを身に付けるための活動を工夫できるようにする。

【「D 浮く・泳ぐ運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
浮く・泳ぐ運動に進んで取り組むとともに、仲よく運動をしようとしたり、水泳の心得を守って安全を確かめようとしたりしている。	自分の力に合った課題をもち、動きを身に付けるための運動の行い方を工夫している。	浮く・泳ぐ運動を楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となるよい動きを身に付けている。

【「D 浮く・泳ぐ運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・浮く・泳ぐ運動に進んで取り組もうとしている。 ・友達と励まし合ったり、補助し合ったりして練習をしようとしている。 ・友達と協力して、補助具などの準備や片付けをしようとしている。 ・浮く・泳ぐ運動の心得を守り、安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮く運動や泳ぐ運動の動き方や動きのポイントを知るとともに、自分の力に合った課題を選んでいる。 ・浮く運動や泳ぐ運動の動きを身に付けるための練習の仕方を知るとともに、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮く運動では、いろいろな浮き方やけ伸びをすることができる。 ・泳ぐ運動では、補助具を使つてのキックやストローク、呼吸をしながらの初歩的な泳ぎができる。

(5) 「E ゲーム」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
 - ア ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作やボールを持たない時の動きによって、易しいゲー

ムをすること。

イ ネット型ゲームでは、ラリーを続けたり、ボールをつないだりして易しいゲームをすること。

ウ ベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどの動きによって、易しいゲームをすること。

(2) 運動に進んで取り組み、規則を守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(3) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができるようにする。

【「E ゲーム」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
ゲームに進んで取り組むとともに、規則を守り勝敗を受け入れて仲よく運動しようとしたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしたりしている。	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりしている。	易しいゲームを楽しく行うための基本的なボール操作や簡単な動きを身に付けている。

【「E ゲーム」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに進んで取り組もうとしている。 ・規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・ゲームを行う場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型ゲームやネット型ゲーム、ベースボール型ゲームの行い方を知るとともに、易しいゲームを行うためのゲームの規則を選んでいる。 ・ゲームの型の特徴に合った攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型ゲームでは、易しいゲームにおいて、基本的なボール操作やボールを持たないときの動きができる。 ・ネット型ゲームでは、易しいゲームにおいて、ラリーを続けたり、ボールをつないだりするための動きができる。 ・ベースボール型ゲームでは、易しいゲームにおいて、蹴る、打つ、捕る、投げるなどの動きができる。

(6) 「F 表現運動」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したりリズムの特徴をとらえたりして踊ることができるようにする。

ア 表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊ること。

イ リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ること。

(2) 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(3) 自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。

【「F 表現運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
表現運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく練習や発表の仕方を工夫できるようにする。	自分の力に合った課題をもち、練習や発表の仕方を工夫している。	表したい感じを表現したりリズムの特徴をとらえたりして踊るための動きを身に付けている。

よく運動をしようとしたり、運動する場の安全を確かめようとしたりしている。	
--------------------------------------	--

【「F 表現運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・表したい感じを表現したりリズムの特徴をとらえたりして踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に進んで取り組もうとしている。 ・運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をしようとしている。 ・運動する場の安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現やリズムダンスの動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題や題材を選んでいる。 ・よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊ることができる。 ・リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。

Ⅲ 第5学年及び第6学年

1 学年目標

- (1) 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。
- (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

2 第5学年及び第6学年の評価の観点の趣旨

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、進んで運動に取り組むとともに、協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意しようとする。	自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫している。	運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりとごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 体づくり運動」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体力を高めることができるようにする。
 - ア 体ほぐしの運動では、心と体の関係に気付いたり、体の調子を整えたり、仲間と交流したりするための手軽な運動や律動的な運動をすること。
 - イ 体力を高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動をすること。
- (2) 運動に進んで取り組み、助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。
- (3) 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫できるようにする。

【「A 体づくり運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、体力を高めたりすることができるよう、進んで取り組むとともに、約束を守り助け合って運動をしようとしたり、運動する場や用具の安全に気を配ろうとしたりしている。	自分の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫している。	体力を高める運動について、ねらいに合った動き（動作）を身に付けている。

【「A 体づくり運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自分の体力に応じて体力を高めたりすることができるよう、体づくり運動に進んで取り組もうとしている。 ・約束を守り、仲間と助け合って運動をしようとしている。 ・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ・運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動のねらいを知るとともに、ねらいに応じた運動の行い方を選んでいる。 ・体力を高める運動のねらいや行い方を知るとともに、自分の体力に合った運動の行い方を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動では、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動のねらいに合った動きができる。

※なお、「体ほぐしの運動」は、技能の習得・向上を直接のねらいとするものではないことから、運動の技能の観点から削除している。

(2) 「B 器械運動」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技ができるようにする。

ア マット運動では、基本的な回転技や倒立技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。

イ 鉄棒運動では、基本的な上がり技や支持回転技、下り技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。

ウ 跳び箱運動では、基本的な支持跳び越し技を安定して行うとともに、その発展技を行うこと。

(2) 運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

(3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫できるようにする。

【「B 器械運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
器械運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、約束を守り助け合って運動をしようとしたり、	自分の力に合った課題の解決を目指して、練習の仕方や技の組み合わせ方を工夫している。	マット運動、鉄棒運動、跳び箱運動について、安定した基本的な技やその発展技を身に付けている。

運動する場や器械・器具の安全に気を配ろうとしたりしている。		
-------------------------------	--	--

【「B 器械運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・技を高めたり，組み合わせたりする楽しさや喜びに触れることができるよう，器械運動に進んで取り組もうとしている。 ・約束を守り，友達と助け合っ技の練習をしようとしている。 ・器械・器具の準備や片付けで，分担された役割を果たそうとしている。 ・運動する場を整備したり，器械・器具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決の仕方を知るとともに，自分の課題に合った練習の場や方法を選んでいる。 ・技をつなぐ方法を知るとともに，自分の力に合った技を組み合わせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動では，繰り返したり組み合わせたりするための自分の力に合った安定した基本的な回転技や倒立技，及びその発展技ができる。 ・鉄棒運動では，繰り返したり組み合わせたりするための自分の力に合った安定した基本的な上がり技や支持回転技，下り技，及びその発展技ができる。 ・跳び箱運動では，自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越し技，及びその発展技ができる。

(3) 「C 陸上運動」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その技能を身に付けることができるようにする。

- ア 短距離走・リレーでは，一定の距離を全力で走ること。
- イ ハードル走では，ハードルをリズムカルに走り越えること。
- ウ 走り幅跳びでは，リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。
- エ 走り高跳びでは，リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。

(2) 運動に進んで取り組み，約束を守り助け合っ運動をしたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

(3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。

【「C 陸上運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
陸上運動の楽しさや喜びに触れることができるよう，進んで取り組むとともに，約束を守り助け合っ運動をしようしたり，運動する場や用具の安全に気を配ろうとしたりしている。	自分の力に合った課題の解決を目指して，練習や競走（争）の仕方，記録への挑戦の仕方を工夫している。	短距離走・リレー，ハードル走，走り幅跳び，走り高跳びについて，競走（争）したり，記録を高めたりするための基本的な技能を身に付けている。

【「C 陸上運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
・競争したり，目標記録に挑戦したりする楽しさや喜びに触れることができるよう，陸上	・課題の解決の仕方を知るとともに，自分の課題に合った練習の場や方法を選んでいる。	・短距離走・リレーでは，一定の距離を全力で走ることができる。

<p>運動に進んで取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束を守り、友達と助け合っ て練習や競走（争）をしよう としている。 ・用具の準備や片付け、計測や 記録などで、分担された役割 を果たそうとしている。 ・運動する場を整備したり、用 具の安全を保持したりするこ とに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との競走（争）や自分の 記録への挑戦の仕方を知ると ともに、自分の力に合った競 走（争）のルールや記録への 挑戦の仕方を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走では、ハードルを リズムカルに走り越えること ができる。 ・走り幅跳びでは、リズムカル な助走から踏み切って跳ぶこ とができる。 ・走り高跳びでは、リズムカル な助走から踏み切って跳ぶこ とができる。
--	---	--

(4)「D 水泳」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。
 - ア クロールでは、続けて長く泳ぐこと。
 - イ 平泳ぎでは、続けて長く泳ぐこと。
- (2) 運動に進んで取り組み、助け合っ
て水泳をしたり、水泳の心得を守って安全に気を配ったりする
ことができるようにする。
- (3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。

【「D 水泳」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<p>水泳の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、友達と助け合っ て水泳をしようとしたり、水泳の 心得を守って安全に気を配ろう としたりしている。</p>	<p>自分の力に合った課題の解決を 目指して、練習の仕方や記録へ の挑戦の仕方を工夫している。</p>	<p>クロール、平泳ぎについて、続 けて長く泳ぐための基本的な技 能を身に付けている。</p>

【「D 水泳」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・続けて長く泳ぐ楽しさや喜び に触れることができるよう、 水泳に進んで取り組もうとし ている。 ・友達と助け合いながら協力し て練習をしようとしている。 ・補助具の準備や片付けなど、 分担された役割を果たそうと している。 ・体の調子を確認してから泳ぐ など水泳の心得を守り、安全 を保持することに気を配ろう としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決の仕方を知るとと ともに、自分の課題に合った練 習の場や方法を選んでいる。 ・記録への挑戦の仕方を知ると ともに、自分の力に合った距 離や記録への挑戦の仕方を選 んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、手と足の動き に呼吸を合わせながら、続け て長く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動きに 呼吸を合わせながら、続けて 長く泳ぐことができる。

(5) 「E ボール運動」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。
 - ア ゴール型では、簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすること。
 - イ ネット型では、簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備によって、攻防をすること。
 - ウ ベースボール型では、簡易化されたゲームで、ボールを打ち返す攻撃や隊形をとった守備によって、攻防をすること。
- (2) 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。
- (3) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。

【「E ボール運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
ボール運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、ルールを守り助け合って運動をしようしたり、運動する場や用具の安全に気を配ろうとしたりしている。	ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に合った作戦を立てたりしている。	ゴール型、ネット型、ベースボール型について、簡易化されたゲームで攻防をするためのボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けている。

【「E ボール運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ・運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型やネット型、ベースボール型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。 ・チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、簡易化されたゲームで、攻守が入り交じた攻防をするためのボール操作やボールを受けるための動きができる。 ・ネット型では、簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備をするための動きができる。 ・ベースボール型では、簡易化されたゲームで、ボールを打ち返す攻撃や隊形をとった守備をするための動きができる。

(6) 「F 表現運動」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊ることができるようにする。
 - ア 表現では、いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ること。
 - イ フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。
- (2) 運動に進んで取り組み、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。
- (3) 自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。

【「F 表現運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
表現運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、互いのよさを認め合い助け合っって練習や発表をしようとしたり、運動する場の安全に気を配ろうとしたりしている。	自分やグループの課題の解決を目指して、練習や発表の工夫を工夫している。	表現やフォークダンスについて、表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊るための動きを身に付けている。

【「F 表現運動」の評価規準の設定例】

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に進んで取り組もうとしている。 ・約束を守り、友達と助け合っって練習や発表、交流をしようとしている。 ・運動をする場の安全を保持することに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、構成を変えたりしている。 ・自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会、交流会で自分やグループのよさを生かす動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現では、いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができる。 ・フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。

<保健領域>

I 第3学年

1 学年目標

- (1) 健康な生活について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

2 第3学年の評価の観点の趣旨

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
健康な生活について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康な生活について、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表している。	健康な生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

「G 保健 (1) 毎日の生活と健康」

【学習指導要領の内容】

- (1) 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにする。
- ア 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていること。
- イ 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。
- ウ 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。

【「G 保健 (1) 毎日の生活と健康」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
健康な生活について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康な生活について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に考え、判断し、それらを表している。	健康の状態、1日の生活の仕方、身の回りの環境について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

【「G 保健 (1) 毎日の生活と健康」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 健康な生活について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活について、教科書や資料などを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 健康な生活について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。 1日の生活の仕方について理解したことを言ったり、書いたりしている。 身の回りの環境について理解

	る。	したことを言ったり，書いたりしている。
--	----	---------------------

II 第4学年

1 学年目標

- (1) 体の発育・発達について理解できるようにし，身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

2 第4学年の評価の観点の趣旨

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
体の発育・発達について関心をもち，意欲的に学習に取り組もうとする。	体の発育・発達について，課題の解決を目指して実践的に考え，判断し，それらを表している。	体の発育・発達について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

3 学習指導要領の内容，内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

「G 保健 (2) 育ちゆく体とわたし」

【学習指導要領の内容】

- (2) 体の発育・発達について理解できるようにする。

ア 体は，年齢に伴って変化すること。また，体の発育・発達には，個人差があること。

イ 体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，初経，精通などが起こったりすること。また，異性への関心が芽生えること。

ウ 体をよりよく発育・発達させるには，調和のとれた食事，適切な運動，休養及び睡眠が必要であること。

【「G 保健 (2) 育ちゆく体とわたし」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
体の発育・発達について関心をもち，学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	体の発育・発達について，課題の解決を目指して，知識を活用した学習活動などにより，実践的に考え，判断し，それらを表している。	体の年齢に伴う変化や個人差，思春期の体の変化，よりよく発育・発達させるための生活について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

【「G 保健 (2) 育ちゆく体とわたし」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 体の発育・発達について，教科書や資料などを見たり，自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 体の発育・発達について，課題の解決に向けての話合いや発表などの学習活動に進んで 	<ul style="list-style-type: none"> 体の発育・発達について，教科書や友達の話などを基に，課題や解決の方法を見付けたり，選んだりするなどして，それらを説明している。 体の発育・発達について，学習したことを自分の成長や生活と比べたり，関係を見付け 	<ul style="list-style-type: none"> 体の年齢に伴う変化や個人差について理解したことを言ったり，書いたりしている。 思春期の体の変化について理解したことを言ったり，書いたりしている。 体をよりよく発育・発達させるための生活について理解し

取り組もうとしている。	たりするなどして、それらを説明している。	たことを言ったり、書いたりしている。
-------------	----------------------	--------------------

Ⅲ 第5学年

1 学年目標

- (1) 心の健康について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。
- (2) けがの防止について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

2 第5学年の評価の観点の趣旨

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
心の健康やけがの防止について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	心の健康やけがの防止について、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表している。	心の健康やけがの防止について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

「G 保健 (1) 心の健康」

【学習指導要領の内容】

- (1) 心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにする。
 - ア 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。
 - イ 心と体は、相互に影響し合うこと。
 - ウ 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。

【「G 保健 (1) 心の健康」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
心の健康について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとする。	心の健康について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に考え、判断し、それらを表している。	心の発達、心と体の相互の影響、不安や悩みへの対処について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

【「G 保健 (1) 心の健康」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 ・心の健康について、課題の解 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康について、教科書や友達の話などを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ・心の健康について、学習した 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の発達について理解したことを言ったり、書いたりしている。 ・心と体の相互の影響について理解したことを言ったり、書いたりしている。

決に向けての話合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。	ことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。	・不安や悩みへの対処について理解したことを言ったり、書いたりしている。
------------------------------------	--	-------------------------------------

「G 保健 (2) けがの防止」

【学習指導要領の内容】

(2) けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当ができるようにする。

ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。

イ けがの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。

【「G 保健 (2) けがの防止」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
けがの防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	けがの防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に考え、判断し、それらを表している。	交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止、けがの手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

【「G 保健 (2) けがの防止」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・けがの防止について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 ・けがの防止について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの防止について、教科書や資料を基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ・けがの防止について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止について理解したことを言ったり、書いたりしている。 ・けがの手当について理解したことを言ったり、書いたりしている。

IV 第6学年

1 学年目標

(1) 病気の予防について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

2 第6学年の評価の観点の趣旨

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
病気の予防について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	病気の予防について、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表している。	病気の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

「G 保健 (3) 病気の予防」

【学習指導要領の内容】

(3) 病気の予防について理解できるようにする。

ア 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわりあって起こること。

イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。

ウ 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。

エ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

オ 地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていること。

【「G 保健 (3) 病気の予防」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
病気の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	病気の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に考え、判断し、それらを表している。	病気の起こり方とその予防の方法、地域の保健活動について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

【「G 保健 (3) 病気の予防」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 病気の予防について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 病気の予防について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 病気の予防について、教科書や調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 病気の予防について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 病気の起こり方について理解したことを言ったり、書いたりしている。 病原体がもとになって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。 生活行動がかかわって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解したことを言ったり、書いたりしている。 地域の様々な保健活動の取組について理解したことを言ったり、書いたりしている。